

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和8年 第 3 週 令和8年1月12日 ~ 令和8年1月18日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加↑↑;2週連続増加↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意報レベル				警報レベル		注意報レベル
	2 週	3 週	開始	終息			2 週	3 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	12.8 注意報	11.0 注意報	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.00			
COVID-19	0.00	0.20 ↑				ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	80.0 ↑	76.8				流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2	3
R S ウイルス 感染症	0.00	1.00 ↑				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.67	0.33	3	1		流行性角結膜炎	0.00	0.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.00 ↑	3.00	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	2.33 ↑	8.00 ↑↑	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.33	0.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00			
手足口病	0.33	1.00 ↑	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.67 警報	0.33	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

マイコプラズマ感染症に注意しましょう



感染性胃腸炎が増加しています

管内の一部の学校でマイコプラズマ感染症の発生が確認されています。

「肺炎マイコプラズマ(Mycoplasma pneumoniae)」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、秋冬に増加する傾向があり、再感染もよく見られます。

主な症状は発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。潜伏期間は長く、2~3週間くらいとされています。

普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

※マイコプラズマ肺炎は基幹定点(患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)を2次医療圏域毎に1カ所以上、基幹定点として指定)報告のため、実質的な報告数より少ない場合があります。



✓咳エチケット ✓手指衛生 ✓換気
✓十分な休養 ✓バランスの取れた食事

●感染性胃腸炎は細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因の特定には至っていません。

●病原体の中にはアルコール消毒の効果が無いものもありますので、帰宅時・調理前・食事前・おむつ交換後等は、石けんでしっかりと手洗いをし、共有タオルの使用は避けましょう。バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠をとり体調管理を万全にし、免疫力を高めましょう。

●原因微生物のうち、ロタウイルスについては、すでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。

